

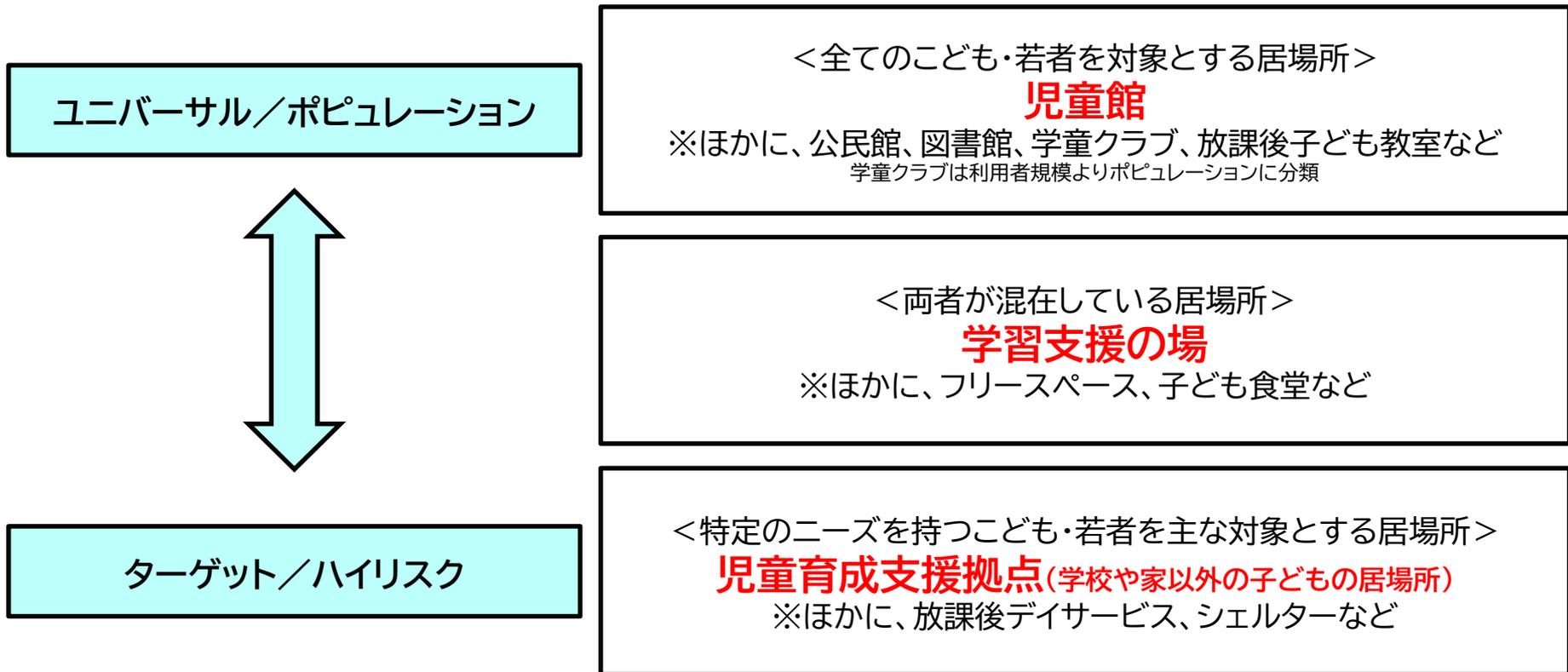
# 子ども・若者への インタビュー

「日野市こども計画」  
策定に向けて





## こども家庭庁で作成した 「居場所の分類」によりアウトリーチ型インタビューを実施



※養育環境を提供する場(例:児童養護施設)、学校が行う教育活動の場、営利活動の場(例:塾、ゲームセンター)は除く。  
※インタビュー実施にあたり、成果に囚われない。



# アウトリーチ型インタビューの目的及び注意点

## □ 実施場所

- 「児童館」については、日頃より児童館職員が子どもと話をしているため、市(行政)との接点の少ない「子どもの学習・生活支援の場」と「学校や家以外の子どもの居場所(フリースペース)」でインタビューを実施

## □ 目的

- 様々な居場所にいる子どもの意見(生の声)を聴く
- アンケートとは異なる手法(双方向性あり)で子どもの意見を聴く

## □ 注意点

- 否定することはせず、率直な意見を聴く
- インタビューの目的である「皆さんの意見を聴いて、市役所の子ども政策に活かしていきたいので、協力をお願いしたい」ことは事前に伝える(子どもの側からも「お願い」された方が協力しやすいと考えられるため)
- とはいえ、意見がそのまま通る訳ではないので、「聴いてどうするの?」と思う子どもがいると思う



# インタビューの手法(国のガイドライン説明会より)

- お菓子やジュースなどがあると、子どもが話しやすい雰囲気ができる
- 机を挟んで話をするより、「椅子だけで円を囲うようにする」「地べたに座って」「こたつに入って」といった環境の方が子どもは話しやすい(リラックスできる環境づくり)
- 服装についても、ワイシャツ・ネクタイではなくカジュアルの方が、「市役所の●●さん」と構えられることがない
- ニックネームで呼び合うなども効果的 「■■■ちゃん」
- アイスブレイクに遊びを交える
- 事前に打ち合わせやプレテストを行って下地づくりをしておく
- 子どもは関係ない話をするかもしれないので、時間も気持ちもバッファ(余白)が大切
- 当日に話ができなかった、ということもあるので、後日でも意見が聞けるように投書箱などを置いていく
- フィードバックすることが大切
- インタビューする側は“大人とは違った意見を楽しむ”ぐらいの気持ちで



## 「グラウンドルール」(意見を聴く場のルール)

- 年齢に関係なく、だれもが等しく話し合いに参加します。一人一人の考えを大切にします。否定したり、さえぎったりしないようにしよう思ったことや考えたことはまとまっていなくても言ってみてOK
  - 何を話しても間違いではない
  - その人が話すペースを大切にす
  - 誰かが話をしている時に発言しない
  - 話したくないこと、個人的なことは、話さなくてだいじょうぶ
  - 自分の言ったことが誰かを傷つけないか気に留める
  - みんなが話せるように、協力する
  - 疲れたら休んだり、やめたりしてもいい
  - 相手のことはむやみに聞かない
  - いちど言ったことをなしにして、他のことを言ってもだいじょうぶ
  - ここで聞いたことはここだけの秘密にする
- 
- 例) 誰からも反応がないことが苦手→うなずいて聴く、話したら拍手をしよう
  - 例) すぐに考えをまとめられない →タイム!と言ってOK、パスしてOK



# インタビュー内容

- ① 友達(自分)の良いところは？…(第三者視点からの)子どもたちの自己肯定感は？
  - ② 大人に自分の意見を言うのは難しい？…子どもの意見表明の状況を確認
  - ③ どこにいる時が楽しい？どういう場所があるといい？…どのような居場所が求められているか
  - ④ 困ったとき・辛いときに誰に相談している？相談しやすいのは？…どのような相談窓口機能が求められているか
- 子どもたちにトークテーマを選んでもらって、その意見を聴く

## 【インタビューで得た結果の取り扱いについて】

- 本インタビューはアンケートで捕捉できなかった属性の偏りをなくしたり、無作為抽出で回答者を決めている訳ではないため、結果は「統計データ」として利用できず、また、「子どもの考えの傾向を示すもの」ではないことに留意。
- データの利用については、本人と施設管理者に了解を得たうえで、計画策定の基礎資料として利用する。了解がない場合は使用しない。



# インタビュー結果(まとめ1)

## □ インタビュー実施日

令和6年6月21日(金曜) 子どもの学習・生活支援の場「ほっとも」

令和6年7月 4日(木曜) フリースペース「たけのこ」



## □ インタビュー対象者数

(年齢や学年などの基本属性はインタビュー内で口頭により確認しているため、正確ではない可能性がございます。)

ほっとも(小中高校生 計11人)

たけのこ(小中学生 計16人)

※インタビューについては、アンケートと異なり現地で対面による形式で行ったため、対象者に合わせたの対応となり、インタビュー結果については一部整理しづらい点があることはあらかじめご承知おきください。



## インタビュー結果(まとめ2)

日時: 6月21日(金曜)午後6時35分～午後7時30分

場所: ほっとも

対象: 中学生4人、高校生2人

Q.どこにいる時が楽しい？

A. 家が楽しい！どこに行っても楽しい！

猫カフェ、ほっとも



Q.どういう場所があるといいと思う？

A. 美術部だからアトリエ！

フリーWi-Fi

YouTubeをゆっくり見られる、ゲームができる場所！

漫画パーク

体育館

平山図書館の2階のスペースのようなところがある図書館とか





## インタビュー結果(まとめ3)

Q.大人に自分の意見を言ったことある？

A.ある！でも分かってくれなくて喧嘩になる

リビングを散らかしてないのに親に怒られた時に言う

Q.友達には意見を言ったことある？

A.仲の良い友達には言える！

初対面でも言える！

兄弟には話が通じない！

Q.意見が通らなかったら？

A.理由を聞く

Q.友達、仲間の良いところは？

A.いっぱいある！自分にはない…





## インタビュー結果(まとめ4)

### Q.困った時誰に相談する？

A.親、妹、一人で解決する 等

親からは気にしすぎと言われる。簡潔に終わっちゃう。

他人には相談しない

少し自分で考えて、本当に辛かったら親に相談

愚痴を言わない友達に自分が愚痴を言うのは言い辛い

学校の保健室で相談する

→日直でクラスの出席者を日誌に書くんだけど、

ずっと保健室にいる(保健室登校)子は出席か欠席か分からない…

### Q.困ったこと、グチはある？

A.いっぱいある！

兄弟のこと(部屋にこもって「ふざけんなよ！」って叫ぶ)



## インタビュー結果(まとめ5)

対象:小学生5人(3~6年生)

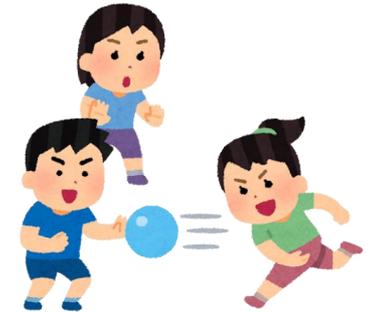
### Q.どこにいる時が楽しい?

A.学校の“中休み”の時間!ドッジボールをしたり図書館に行ったり

家はまあまあ…お兄ちゃんと喧嘩ばかり!

友達の家!中央公園!市役所のコーヒー屋さん(おそらく自動販売機のこと)

中央公園の新しい遊具(インクルーシブ遊具)は5.6年生が占領している…!



### Q.音楽は好き?

A.聞くのは好き!

学校で楽器をしている





## インタビュー結果(まとめ6)

Q.ほっともは楽しい？

A.まあまあ！

今日のご飯美味しかった！

怖い話、宝探し、目隠し鬼ごっこをする



Q.困ったことはある？

A.学校で友達が悪口を言うてくる！

Q.どんな場所が欲しい？

A.中央公園に食べられるキノコが欲しい！

市民農園を大きくしてほしい！



## インタビュー結果(まとめ7)

ほっともにて「インタビューの中で話をできなかったことがあれば…」と伝え、意見箱を設置しました。(6/21～7/1・回答者8人)

どんな場所があったらいいか？	自分のことは好きか？	学校で楽しいことは？
<ul style="list-style-type: none"><li>アスレチック</li><li>ゲームができる(×3)</li><li>公園(×2)</li><li>図書館</li><li>遊び場</li><li>体育館</li><li>バスケットができる</li><li>自由に遊べる</li></ul> 	<ul style="list-style-type: none"><li>まあまあ(×2)</li><li>そんなに好きではない(×2)</li><li>好き</li><li>好きではないですが、自己肯定感は高いです</li><li>普通</li><li>苦手</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>恋愛</li><li>レク</li><li>クラス遊び</li><li>中休み、昼休み、自由時間(×3)</li><li>外で遊ぶ(×2)</li><li>タブレットを使う</li><li>給食を食べる</li><li>絵を描くこと</li><li>面白い友達を増やすこと</li><li>美術の授業</li><li>なし</li></ul>

## インタビュー結果(まとめ8)

日時:7月4日(木曜)午前10時~11時

場所:フリースペース「たけのこ」

対象:小学生15人、中学生1人

※インタビュー内では住んでいる場所は聞いていないが、  
市外から来ている子どももいるとのこと

Q.どこにいる時が楽しい?

A.たけのこにいつもいる

Q.たけのこでは何が流行っているの?

A.けん玉!



## インタビュー結果(まとめ9)

Q.けん玉をしている時は楽しい？

A.楽しい！

川遊びも楽しい、泳いだり飛び込んだりする  
みんなで計画を立てて10～11月にキャンプに行く。  
去年は日陰沢に行った。今年はまだ決めていない。  
4～6年生が主に決めている。



Q.どういう場所があるといいと思う？

A.お菓子の家、パイナップルがいっぱいある家、漫画があるところ  
納豆巻きが毎日食べられるところ、バナナハウス、お菓子の国、  
お菓子を作れる家



## インタビュー結果(まとめ10)

Q.ここでもお菓子を作っているの？

A.桑の実ジャムを作っている



Q.行きたいところを書いてあるけん玉パフォーマンスはなに？

A.今度パフォーマーの人が来る

Q.家では何をしてる？

A.お兄ちゃんとゲーム、兄弟喧嘩、ママに怒られている

Q.家でけん玉はする？

A.する～

たけのコスタッフ:ポケカ、ブレボも流行っているね





## インタビュー結果（まとめ11）

<対象:小学4年生以上にインタビュー(低学年の子は外に出かける準備)>

Q.たけのこで大人に意見を言ったことはある？

A.言っている。たけのこで何をするかはみんなで決めるから大人はあまり口を出さない。

Q.大人に言い辛いことはある？

A.学校では言い辛い

休み時間に話そうとしたら他の人が話していて話しづらい

4人で出るゲームの時に、指示者の一人に「それは違うだろ」と言ったら他の3人にボロクソ言われた

僕はあんまり言っていない

トークルーム(週一回たけのこで行っている“テーマ”を決めてお互いに話をする時間)の時に、他の人が話していて自分は話せなかった





## インタビュー結果(まとめ12)

---

### Q.大人にはどうしてほしい？

A.あそこの橋を作してほしい

もっとバナナを増やしてほしい

学校の先生に言っても変わらない。「これでいいですか？」と聞いてくるけど、最初から決まっている

### Q.たけのこのみんなの良いところは？

A.みんな優しい、個性的、よく一緒に遊ぶ、ダジャレが面白い、みんな面白い  
優しい、たけのこ掘りがうまい



## インタビュー結果(まとめ13)

Q.困った時、辛い時は誰に相談する？

A.●●ちゃん、△△△(たけのスタッフ)

□□□(たけのこの中学生)

布団に入る、だけど親も布団に入ってきてうざい

お風呂場にこもる→たけのスタッフ :困ったらとりあえず一人になるんだね  
親にどうしたの？と言われるのが面倒

困った時まず一人で考える人～？ → 3人挙手

お兄ちゃんに相談

川とかで上流を歩いている時にみんなで言い合うよね



## インタビュー結果(まとめ14)

### Q.日野市にどんな場所が欲しい？

A.家の目の前の畑に公園ができるって言われたけどまだできていない！

早く作ってほしい

デパートで試食を回りたい

海が近くに欲しい

たけのこハウスと池袋をもっと近くにしてほしい



### Q.行きたいとこプロジェクト(壁に貼ってあった)にある八王子市役所は？

A.手続きを…(一同笑い)

楽しいから！食堂がいい

### Q.博物館は？

A.たけのこスタッフ:上野の博物館だね





## インタビュー結果(まとめ15)

### Q.自然はあった方がいい？

A.田舎と自然との距離が徒歩10分だといい

ビワをもっと取らせてほしい。取ろうとしたら怒られた。

自●する人を助けるごっこで背中をドーンとしていたらめっちゃ怒られた  
たけのこハウスが広ければいいのに～体育館が欲しい～学校ぐらい欲しい

### Q.七夕飾りはみんなで作った？

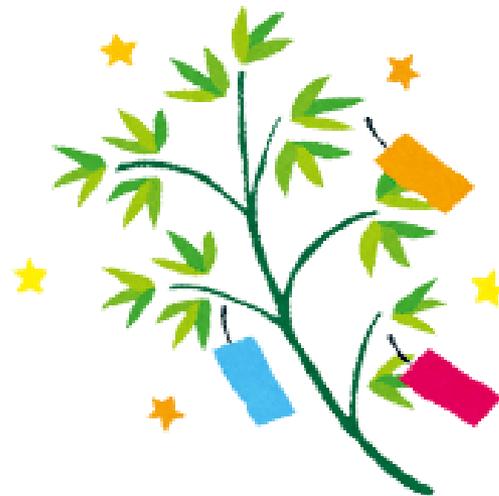
A.作った

願い事を書いた

### Q.イノシシ見たことある？

A.ある！絶対この近くにいる

足跡をいろんなところで見ると





## 参考:スタッフからのお話

---

インタビュー後:たけのこスタッフより

- 家庭環境などのため中々自分の本音を話すのが難しい子もいる
- 週1回、トークルームを設けておりテーマに沿って子どもたちで話をしている  
戦争をテーマにしたときは泣く子もいた
- 一日一枚好きなプリントを選んで学習する
- 週1回日記を書いて交換日記のようにしている
- 1年生のうちから学校に行かなくなると学習が難しくなる
- 最近は低学年から学校に行かない子が増えている



## インタビュー結果を踏まえて

- 大人も考えているような意見もあったが、一方で既成概念に囚われない子どもならではの自由な発想も多くあった
- “当事者”として“子どもの世界”から見た視点での意見があった
- 子どもは大人と比較して経験が少ないのだから、大人が子どもの声に対して短絡的に回答してしまう姿勢は見直しが求められる。親や周りの大人が子どもの声に耳を傾ける姿勢を見直す必要があるかもしれない(子どもであっても一人の人格のある人として尊重される)



インタビューのフィードバックとして、アンケート結果を含め、  
子どもの声を基本理念に反映